

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら川崎大島教室			
○保護者評価実施期間	2025年 9月 8日 ~ 2025年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36人	(回答者数)	33人
○従業者評価実施期間	2025年 9月 8日 ~ 2025年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 3日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子どもたちが通所を楽しみにしている。 ・充実した活動支援プログラムの構成ができている。	・5領域を踏まえたプログラムを作成している。 ・プログラムが固定化されないよう、職員同士でも意見を出し合い作成している。	・今後さらに支援の充実が図れるよう、活動プログラムの工夫を行っていく。
2	・日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるよう、定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。	・HUGや公式lineでのやり取り、送迎時のコミュニケーションを大切にしている。 ・保護者に寄り添い、支援している。 ・子どもについて、職員同士での共有も都度行っている。	・引き続き、子どもの様子を都度保護者と共有し、支援へ繋げられるようにする。
3	・定期的に通信やホームページ、SNS等で、活動概要や情報を子どもや保護者に対して発信されている。	・子どもの活動している様子や、取り組んでいる様子を、定期的に発信している。	・子どもの様子、表情が伝わりやすよう、引き続き定期的に掲載していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がない。	・感染対策などもあり、交流自体がなくなっていた。	・地域のイベントや催し物の情報を確認する。 ・送迎時などにコミュニケーションをとり、交流を増やしていきたい。
2	・職員人数に余裕がなく、各利用者への関わりが少なくなってしまう。	・職員の増加	・職員一人ひとりの専門性を高めていく。
3	・保護者会や保護者同士の交流が出来ていない。	・保護者から個々での相談は随時対応しているが、今現在保護者同士の交流は実施していない。 ・保護者様によっては必要としていない家庭もある。	・今後はイベント開催時などで保護者交流のタイミングを設けていき、子どもも交えながら参加しやすい雰囲気を作っていく。